

町立保育所統合に係る基本構想（案）に対するパブリック・コメントの実施結果

1. 意見募集の概要について

募集期間	・平成 29 年 12 月 5 日（火）～平成 30 年 1 月 4 日（木）
周知方法	・町ホームページ ・公共施設（役場庁舎 2 箇所、中央公民館、総合福祉センター）へのポスター掲示及び同施設での閲覧
提出方法	・指定様式での提出（窓口への持参、郵便、FAX） ・町ホームページから提出（パブリック・コメント専用フォームへの入力）

2. 実施結果と対応について

パブリックコメントで提出された意見は、1 月 30 日に開催された第 2 回子ども・子育て会議において検討した結果、記載内容の修正、文言の追加等は行わず原案のとおりとします。

項 目	件数	区分			
		A	B	C	D
1. 第 1 章 基本構想策定にあたって	1				1
2. 第 2 章 保育事業の現状と新たな保育所へのニーズ	1			1	
3. 第 3 章 統合の候補地の選定について					
4. 第 4 章 統合整備の方針とスケジュール	1				1
5. その他	1				1
合 計	4			1	3

※区分の説明

- A…意見を計画等に反映するもの B…意見が既に反映されているもの
C…意見を今後の参考とするもの D…意見を反映する見込みのないもの

3. 提出されたご意見と町の考え方について

No.	施 策 (頁)	提出された意見	町の考え方	区分
1	町立保育所統合の必要性 (1 頁～2 頁)	1 ページ 「両計画」の基本となっている人口推計は、鞍手町人口ビジョンの仮定値 E を用いており、年間 60 組の若者夫婦が毎年、鞍手町に移住し、かつ 2030 年には合計特殊出生率が 2.1 まで改善するようになっているので、一時期、若干減るものの 2030 年以降の年少人口は現在とほとんど変わらないか、少し増加するようになっているので、人口ビジョンの人口推計からすれば、保育所を統合するのは待機児童を発生することにつながりかねない。	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、教育や子育て環境の充実や居住環境を整備しながら移住・定住促進に取り組むこと等により人口減少に歯止めをかけ、2030 年度の年少人口を 1,569 人と推計しており、これは 2015 年度比で約▲4.5%の数値となっています。当構想（案）においても、この人口推計を前提とし、直近の人口動態を踏まえ補正した数値で児童数を推計し、2040 年度までの児童数は現状維持から微減と考えています。	D

		<p>2 ページ 待機児童が発生したことを統合の理由の一つにしているが、受入児童数より認可定員の方が圧倒的に大きく上回っており、待機児童が発生すること自体が異常だ。あるとすれば、保育士の数が足りず、やむを得ず受入れられなかったぐらいしか考えられないが、それは保育士の採用を怠った行政の怠慢であり、それを理由に統合を進めようとするのは行政の責任逃れだ。</p>	<p>現在、保育士不足により、町立保育所で認可定員まで児童の受入が出来ていないことは事実ですが、現状の3保育所のまま、保育士の正職員化により、待機児童を解消できる水準まで保育士を確保することは、児童の将来推計で現状維持から微減が見込まれること、当町の財政規模・状況、鞍手町総合計画における町立保育所の位置付け等を踏まえると、最善ではないと考えます。</p>	
2	<p>保育事業の現状と新たな保育所へのニーズ (7頁)</p>	<p>7ページ 正規職員が11名(26%) 嘱託職員20名、パート職員11名という職員構成自体が変則である。非正規雇用職員の確保が困難とあるが、他の多くの自治体では待機児童が出ている状況を改善するために、如何にして保育士を確保しようかと努力している中、非正規雇用の職員が集まらないのは当たり前。現在、雇用している非正規職員に対して正規職員への登用に道を開くなど職員の処遇を改善することから始め、新たな職員の確保につながるようにすることが必要だと思う。</p>	<p>保育所運営は、基本的には民間で担うことが出来る公共サービスであると考えますが、一方で障がいのある子どもや発達に課題のある子どもなど、通常的人员基準より手厚く保育士を配置する必要がある場合等は、採算性を考慮する必要がある民間では難しい側面があります。定員設定は、公立保育所の役割、私立保育園の役割を踏まえ、町全体で適切に行う必要があります。まずは、私立保育園を拡張するとともに、町立3保育所を1所に統合し、保育士を効率的に配置することで待機児童の解消を図るとともに、障がい児等の受入枠も確保していく必要があります。</p>	C
3	<p>統合整備の方針とスケジュール (44頁)</p>	<p>13 ページから統合後も町立保育所を望む保護者が多く、130人の定数設定では返って待機児童が出るのではないかと。また私立保育所の拡張を加味しての定数設定にもなっているが、私立保育所と切磋琢磨して私立保育所に負けないような町立保育所にするために、町立だった保育所を私立にした経緯があるので、アンケートにあるような保護者のニーズを受け入れ、広々とした園舎や園庭、保育とともに幼児教育に近い内容も取り入れられる環境を整えた保育所にする必要がある。したがって、130人の定数では少ないので、統合は時間をかけ、熟考すべきである。</p> <p>全体を通して 統合における最も重要な指標は将来の児童数推計だが、33ページから34ページにかけて、住民基本台帳に基づくものや鞍手町人口ビジョンによる推計値、社人研による推計など複数の推計表が掲載されており、どの推計表を基にした基本構想かはっきりしない。また統合が必要となる根拠も脆弱であり、むしろ行政の怠慢と保育士雇用条件の問題による保育士不足が原因で待機児童が発生しただけ</p>	<p>その上で、統合による運営面の効率化を保護者のニーズに応じた施設面の充実や行財政改革による職員の定員適正化計画に基づく保育士の正職員化や職員研修の充実等によりハード・ソフト両面での質を高めていくことを検討していきます。長期的な視点では、総合戦略の効果による児童数の増減に対応していきながら、総合計画に掲げる就学前教育の充実等に私立保育園とも連携しながら取り組んでいく必要があるものと考えます。</p>	D

		<p>で、保護者や児童、保育士にとってプラスになる統合とは思えない。</p> <p>今後、小学校の統合も避けて通れないので、小学校との併設や小学校跡地利用などいろいろな要素も含めて考えられるので、現時点での早急な統合は避けるべきである。</p>	
4	その他	<p>人口が少ないけど、残した方がいいと思います。(理由)なかったら不便だし、あったら便利だから。保育園より小学校の統合合併の方がいいと思います。</p>	D

(誤字脱字は一部修正)